

2016 年度第 1 回 日本学連幹事会 議事録

開催日時：2016 年（平成 28 年）6 月 4 日（土） 14:30~19:00

開催会場：群馬県渋川市 伊香保公民館

議事録作成者：坂野 翔哉（東京理科大学）

議題

1. 方針について
2. 学連発足 35 周年に向けて
3. 規約改正
4. 事務局について
5. テレイン利用の申請と報告について
6. 地図会計について
7. 新機軸事業について
8. インカレ一般クラスのすみわけについて
9. 目安箱について
10. 加盟校の基準について
11. 秋インカレについての意見募集
12. 技術委員会の今後について
13. 後援大会申請
14. 昨年度決算報告
15. 理事会報告
16. 各部局活動報告
17. 地区学連活動報告
18. 日本学連と JOA の関係について
19. 次回幹事会について

出席者（敬称略）

| 氏名 | 役職 | 学校名 |
|--------|------------|-----------|
| 山川 克則 | 副会長 | 東京大学卒 |
| 大西 康平 | 技術委員会委員長 | 京都大学卒 |
| 齋藤 翔太 | 理事・地図会計担当 | 一橋大学卒 |
| 大久保 宗典 | 前年度会計 | 東京大学卒 |
| 小泉 知貴 | 幹事長 | 慶應義塾大学 |
| 石山 良太 | 副幹事長 | 名古屋大学 |
| 成澤 春菜 | 会計 | フェリス女学院大学 |
| 築地 孝和 | 事業部長 | 神戸大学 |
| 坂野 翔哉 | 広報部長 | 東京理科大学 |
| 吉澤 佳奈 | 事務局長 | 日本女子大学 |
| 細 正隆 | 普及部長 | 東北大学 |
| 堀江 優貴 | 渉外部長 | 東北大学 |
| 田口 茂樹 | 会計監査 | 岩手大学 |
| 田中 基成 | 会計監査 | 筑波大学 |
| 渥美 駿 | 北東学連幹事長 | 福島大学 |
| 高田 和樹 | 北信越学連幹事長 | 新潟大学 |
| 横田 智也 | 東海学連幹事長 | 名古屋大学 |
| 中村 哲 | 関西学連幹事長 | 京都大学 |
| 下江 裕貴 | 中四国九州学連幹事長 | 広島大学 |

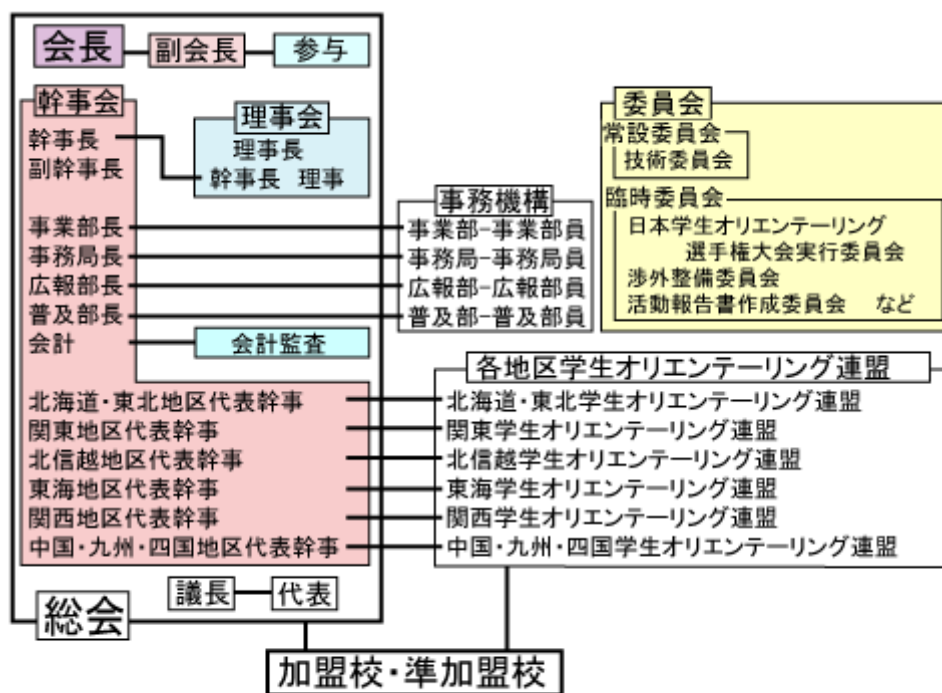
1. 方針について

新しい年度で日本学連が発足したため、改めて日本学連がどういった組織であるのか、その中で幹事とはどういった位置づけにあるのか、インカレの意味などについて意識を共有しておきたい。

日本学連は以下の事業を行っている。

- ・日本学生選手権（インカレ）の主催
- ・世界大学選手権（ユニバーシアード）への選手派遣
- ・学生のオリエンテーリング活動の促進事業
 - 加盟登録、テレイン整備など
- ・各オリエンテーリング団体との協力
 - JOA との協力など

また、以下の図のような組織構成となっている。



なお、この図は日本学生オリエンテーリング連盟規約にもとづいて作成しました。
designed by web-uofj,2005.

総会は、本連盟の最高議決機関であり年 2 回の定例総会を行う。幹事会は本連盟の業務の執行を決定し、その運営を行う。

詳しくは日本学連 HP 規約書庫

(<http://www.orienteering.com/~uofj/?blogid=1&catid=6&itemid=16>)

等を参考。

2. 学連発足 35 周年に向けて

要旨

日本学連は今年度の 12 月で発足 32 周年となる。30 周年では記念事業の開催を見送ったものの、今後の記念事業の開催可否や内容について定期的に学生から意見を求めている。各クラブ、地区学連で意見を出し合い、次期幹事会などに持ち寄ってほしい。

| | |
|----|--|
| 小泉 | <p>今年度の 12 月で日本学連発足 32 周年にあたる。2 年前の 30 周年の時には何もできず、昨年の 31 周年目に何かやればよかったのでは？という議論をした結果、学生側からなにかやりたいという声が上がってきたらやろう、という結論になった。とはいえ、これについて放置していたらまた忘れてしまうので、定期的に何か記念事業を開催したいかについて意見を募集していきたい。</p> <p>以下、河合会長からの意見を一部抜粋 可能であれば 30 周年記念祝賀会を開くべきだったと考えています。 準備の時間などを考えれば、現実的には難しかったとは思いますが、 JOA 加盟を果たしたこともあり、タイミングとしてはよかったはずですが、 では、それはなぜか。 学連の前身連絡協を含めれば、30 年以上に渡って組織やインカレを継続できたのも、先人たちの努力や学連の周囲の方々のご協力があったからこそであり、それらの方々に感謝し、今後も努力を続けることを誓う場を設けることは、社会的な存在としては当たり前のことだと思うからです。 具体的には、祝賀会にはお世話になった方々を招き、特に功績のあった方を表彰したりするのがよいでしょう。 当然、理事会マターということになりますね。 35 周年では、是非考えていただきたいと思います。</p> <p>会長からの意見も考慮して 35 周年記念事業について考えたい。</p> |
| 山川 | 35 周年は具体的に何年？ |
| 小泉 | 2019 年になります。 |
| 山川 | お世話になった方を招くなどの対応は理事会が行う。結局開催判断は理事会にて決断する案件かと思うので、いま開催可否について決断すべきではないことを確認しておく。しかし理事会も集まりが悪く、一度しっかり集まり話し合いたいと考えている。 |
| 齋藤 | かなり早くからの提案になってしまい、内容のイメージが湧きにくいとは思いますが時間を掛けて考えてもらって、学生からの多くの意見を集めたい。学生はどうしたいか。 |

| | |
|-----|---|
| 小泉 | 各地区学連でも意見をまとめてもらって、次回の幹事会でも議題にしましょう。 |
| 大久保 | なにか開催する場合の会計の仕組みはどうなるのか。学連から支出すべきものなのか。 |
| 齋藤 | 全額じゃないにしても必要になると考えているが、主に会費制のパーティーが考えられる。 |
| 山川 | 10 周年記念の時はかなりの赤字が発生したため学連も負担している。 |
| 大久保 | 会場などを取るのであれば日本学連会計からの捻出も必要になると思うが、これも学生の意志が関わってくる。 |
| 田中 | 必要なら 3 年間の積立金も考えるべきなのか。規模はどの程度か。 |
| 齋藤 | OB,OG も集めるなら大規模になり、会場に制約が生じてくる。 |
| 大西 | 後夜祭で 35 周年企画としての開催はどうか。 |
| 齋藤 | それなら OB,OG も集まりやすい。500 人近い人数になるので早くに宿を押さえる必要がある。 |
| 小泉 | 春インカレ後の後夜祭か、または秋インカレに合わせる。 |
| 山川 | それ以外の日程を作っても人は来ないだろうと思う。全日本大会では厳しいし、学連としての活動ではなくなってしまう。 |
| 築地 | OB,OG も集めるとなると後夜祭翌日が平日なのはよくない。 |
| 齋藤 | 各クラブ、地区学連で意見を出し合って欲しい |
| 小泉 | 次期幹事会などで意見を持ち寄ってほしい。 |

3. 規約改正

要旨

日本学連規約は常に見直しを行っている。前年度決定した女子ロングエリートの人数削減の規約改正について、新規約が作成されたので HP に掲載をした。また、現行の規約について、①地区学連規約改正の煩わしさ ②地区学連毎に異なる総会の成立条件 ③総会議決でのクラブ規模の違いによる 1 票の格差 などについて議論を行った。

| | |
|----|--|
| 小泉 | 前年度の総会と幹事会の決定により、事務局の移転と女子ロングエリートの人数の削減が決定された。枠削減、競技者配分規則に関して規約が改正されたものについては、前年度幹事長から修正されたものを受け取った。 |
| 坂野 | 現在 HP に掲載されているものは改正前のもの。後日 HP に新しい規約を掲載する。 |
| 小泉 | その他の規約についても、現状に即したように確認を行っていきたい。まず、日本学連規約の 6 条には地区学連規約改正を行う場合に日本学連総会での承認を行うことになっているが、重要度の高い連盟規約だけでなく、選考基準の調整などの改正は件数も多く煩わしいのではないかと、という意見が昨年あった。すべての地区学連規約改正を日本学連総会での承認する必要があるのか、地区学連で検討して欲しい。 さらに、日本学生規約 15 条 2 項では総会は過半数の出席で成立するが、地区学連規約では地区学連総会では 3 分の 2 の出席で成立する。この違いに妥当性はあるか。 |
| 田中 | この出席数を統一する必要はないと思う。地区によって集まりやすさが異なるのではないかと。 |
| 小泉 | あとは、日本学連規約 20 条、クラブ規模の違いで生じる議決権配分、つまり 1 票の格差を是正する必要があるか。地区学連規約の加盟校基準の違いについてはあとで議論を行う。 |
| 齋藤 | 投票対象を全加盟員とすれば格差はなくなる。議決内容によって投票対象を全加盟員としたりクラブ単位にしたりすることが考えられる。技術的な問題もあるが、検討の価値はあると思う。 |
| 小泉 | かなり大変になると思うが、現行の配分は大規模クラブにとって不利である。加盟員からの意見があれば、改正してもいいものと考えている。クラブ規模の違いで生じる議決権配分について、各地区学連で意見をまとめて欲しい。また、インカレ申込方法が用紙での申込となっているが、ネット申込の実情と異なっていないか |
| 齋藤 | ネット上でも用紙という解釈で間違いはないと言えるし、改正の必要はないのではないかと。 |

4. 事務局について

要旨

昨年度総会にて東京都文京区の山川氏個人宅にあった日本学連事務局を、栃木県塩谷郡塩谷町の YMOE 社所有「山川克則記念館」（通称：山川ハウス）へ移転することが決定された。それに伴う規約改正の進捗確認と、郵送物の転送方法について議論した。

| | |
|----|--|
| 小泉 | 事務局を山川ハウスに移転することについて、河合会長に許可をもらうとのことだったが、この件について進捗を確認したい。また、日本学連へ来る郵送物の転送方法について私書箱を検討したい。 |
| 山川 | 移転は決定し、会長の許可は頂いたが理事会での決議が行われていない。行政上の手続も終わっていない。 |
| 小泉 | 事務局住所について学連の規約改正も次回総会で行いたい。 |
| 山川 | 学連関係での業務利用については 1 年間で 120 万円となっている。会計とも協力して手続きが必要になる。 |
| 小泉 | 山川さんには事務局関連の契約については理事会に行ってもらい、次回幹事会までに書類を作成し提出をお願いする。そして、規約のさまざまところに事務局住所の記載があるので次回幹事会までに全て改正の用意をしたい。規約訂正については理事の方にお任せする。 |
| 小泉 | また、事務局宛の郵便物について、緊急なものを事務局に受け渡せるとは限らない。都内の事務局長の家の近くに私書箱をおき、郵送物はそちらに送ってもらうように HP など案内を行うことができないかという意見が昨年あった。 |
| 山川 | 郵送物については、山川ハウスに届いた物を迅速に事務局長へ受け渡すのは難しい。私の長期入院なども十分に考えられる。 |
| 小泉 | 都内に私書箱を置いて、学連 HP で利用案内を行いたいが、調べが足りない。任意団体の利用や、頻繁に郵送物があるわけではないというような利用は難しいようだ。民間の私書箱も数多くサービスが有るようなので、次回幹事会までに場所や契約方法について事務局長には調査をお願いする。 |

5. テレイン利用の申請と報告について

要旨

加盟校による全てのテレイン利用について、渉外問題の報告やテレイン管理のために、地区学連を通して日本学連への申請書・報告書の提出を勧告している。また、今年度から矢
 栃木県テレイン利用の申請方法が変更された。これに関しての周知勧告と利用方法の改善
 を議論した。

| | |
|----|--|
| 小泉 | <p>今年度から栃木県テレイン利用の申請方法が変わった。また、全てのテレイン利用の際は、必ず届け出と、問題があった場合のみ報告をしなければならないが、届け出が行われていないケースが多く、渉外問題などが発生した場合に学連が協力することができない等、問題が生じることがある。</p> <p>加えて、各テレインの報告書が上がってきたら、その注意事項についてまとめておき、その次に申請書が届いたときに受領の返信と共にその注意事項を伝えられるようなシステムは作れないだろうか？できれば、各地区学連単位で行っていきたいと考えている。</p> |
| 齋藤 | <p>昨年度はインカレロング直前にモデルイベントで渉外問題が発生し、一時はインカレ開催が危ぶまれることになった。申請と報告を厳格に行いたいので勧告を行う必要がある。</p> |
| 山川 | <p>他にも、日本学連所有のテレインについては、調査修正を随時行い精度と価値を維持するために加盟員の利用報告を促している。</p> |
| 小泉 | <p>渉外問題の報告書提出も各地区学連で行いたい。関東学連ではテレイン利用アンケートを作成した。報告書だけでなく、駐車位置、拠点などテレイン利用において情報の蓄積が可能となる。関東学連を参考に同様の報告書を各地区学連も策定してもらえればと思う。</p> |
| 坂野 | <p>日本学連で何か策定されれば HP に掲載する。栃木県テレイン利用の申請方法についてもわかりにくいと事務局から声があったので、改善と広報をしたいと考えている。</p> |
| 田中 | <p>昨年は各地区学連にてテレイン利用申請が徹底されていなかった事実がわかった。何かあった時の報告書だけでなく、申請書を提出するよう徹底を進めて欲しい。</p> |

6. 地図会計について(指定管理業者との業務委託管理契約)

要旨

日本学連は地図財産を最も重要な資産としており、継続的な更新により使用可能な状態に保っている。現在 14 テレインを所有し、その作成や利用、維持管理に関しては業者と契約を行うことで達成している。また昨年度の合同ミドルセレではその調査修正費用の申請や会計の妥当性に関して一部問題があったため、確認と報告を行った。

| | |
|----|---|
| 小泉 | 2015 年 12 月合同ミドルセレ（番匠峰古墳）において、幹事会や理事会での承認を経ずに山川氏が修正調査を行い、事後に調査修正費の一部を申請し、日本学連から拠出した。調査修正費のうち日本学連負担可能金額を越えた部分はセレ実行委員会会計から出された。日本学連所有の地図の修正は、本来であれば指定管理業者の事前の見積もりと報告があって会計から出されるものであるため、不適切であった。これについて妥当性の確認を行いたい。また、2015 年度合同ミドルセレクションの報告が済んでいないので、それについても報告を頂きたい。 |
| 齋藤 | そもそも地図会計から出すべきだったのか。今回は手順に問題があった。 |
| 山川 | 昨年度幹事会で説明したように、番匠峰古墳の修正の件は時間の制約が厳しく、例外的な処置だった。今後は計画書、見積書を作成し、幹事会で説明を行うという手順を踏む。1 日程度の小さな修正であれば年間契約の範疇で行う。これは涉外記録として提出することになっている。 |
| 山川 | また、今回の幹事会にて発議がないため今年度は新機軸事業が存在しない。今年 1 年は修正契約範囲の残り（田所、番匠峰古墳、熊ノ木）に取り組む。インカレスプリントを優先しなければならないということもある。 |
| 齋藤 | 修正費用は徹底調査が 1ha あたり 4500 円、通常更新が 1 日 33333 円となっている。これに関しては妥当だったか。 |
| 山川 | 適切だったと考えている。 |

7. 新機軸事業について

日本学連はテレイン作成や修正に関して、日本学連にとって有益であるものについて承認し、事業契約のもと所有テレインを整備している。現在のところ山川氏または YMOE 社によって、栃木県内にて 4 件が適用されている。これについて確認を行った。

| | |
|----|--|
| 小泉 | そもそも「新」機軸事業とは規約上に書かれていない。名前の訂正が必要と感じる。 |
| 齋藤 | 規約には「事業計画」としてあるので今後はこう呼びたい。すでに 4 件が行われているため「新」とは言いがたい。 |
| 山川 | 前途の通り、今年度の事業計画は申請されなかった。なお、これまでの 4 件は①早大 OC による毘沙門山 ②千葉東工合同の矢板山田 ③筑波による矢板山苗代 ④KOLC の矢板田所である。田所は未完成のため今年度中に契約範囲の調査を終了して練習会を開催する予定である。また、今後の事業計画申請に先立って矢板合会、矢板片俣のテレイン修正開発を検討・見積もりをしているので、大会開催を検討しているクラブがあればぜひ声をかけて欲しい。 |

8. インカレ一般クラスのすみわけについて

前年度インカレミドルから、選手権クラスと一般クラスのすみわけについてのガイドラインを発行した。これが適切だったか、各地区学連から報告を行った。

| | |
|-----|--|
| 小泉 | 各地区学連幹事長にはその実施について各加盟校から集めた意見を報告していただきたい。 |
| 北東 | ガイドラインで問題はなかった。 |
| 北信越 | 新潟はガイドラインを採用していない。金沢・金工からは返答が無かったため報告できない。 |
| 関東 | A クラスからは難易度を上げてほしいという意見、B クラスからは簡単すぎたとの声や、もう一つランクを作って欲しいとの意見があった。学校としてより個人としての意見が多く、このような意見が集まった。 B クラスを走った人からの不満が多い印象を受けた。来年は基準を満たさなくても A に出る人が増える、B クラスはつまらないという印象を与えてしまったかもしれない。A クラスは賛否両論だった。 |
| 東海 | 概ね妥当だった。関東と同様に、A の難易度を上げてほしい、B も簡単すぎた、もう一つランクを作って欲しいとの声があった。 |
| 関西 | 京都奈良女子大では問題はなく適切との意見だった。大阪からは B が F より簡単と感じたので難易度を上げて欲しいとあった。 |
| 中九四 | 参加者が少なく参考になる意見を出せない。 |
| 細 | B クラスが簡単すぎたという意見が多くあったが、B クラスが F クラスより短いというのはどうなのか、せめて初心者クラス程度にはできなかったのか。 |
| 大西 | ガイドラインに問題はないと思われる。コースは毎回変わるプランナーによるし、トレインの制約も大いにある。 |
| 小泉 | 今回は B が簡単だったという意見を実行委員会に伝える。また、導入時の議論においては AB の間に新しいクラスを設けることは運営の都合等を考慮すると不可能であるとした。 |
| 田中 | 全競技者のレベルに合わせてコース作成することは不可能である。どうしてもどこかにゆがみは生じるので、コースが簡単だと感じたなら競技者がより高いクラスに出場するよう競技レベルを向上するしかないと思う。 |

9. 目安箱について

これまで幹事会に加盟員からの意見が直接届く機会がなかったため、2015 年度インカレロングから会場に目安箱を設置し意見を求めている。2015 年度インカレミドルの際に集まった意見を元に議論及び回答を行う。今後もインカレや学連後援大会に目安箱を設置し、意見の収集に努める。

| | |
|-----|---|
| 目安箱 | 関西の人数の少ない大学の練習のために、学連主催で講習会などを開き、練習できる環境がほしい。 合宿などを広いエリアで開いてほしい |
| 関西 | 関西学連としての合宿はここ三年間開催されていないため、日本学連の協力がほしいと感じている。 |
| 築地 | 関西学連で開催できたら良いと思う。 |
| 大西 | OB,OG の人数と余裕が少なく、技術委員会も開催できない状況である。 |
| 齋藤 | 技術委員会があまり機能しなくなっている。学連に頼むまえに関西地区の OB,OG を頼るべき。 |
| 小泉 | この意見は岡山大学からとのことだが、出身者は少なく開催は難しいと思う。 |
| 関西 | 中九四では人数も少なく動きにくいと思われる。意見を受けて、関西学連全体で協力して OB,OG に頼りつつ対応したい。 |
| 目安箱 | インカレに関して ・速報横にスタートリストが欲しい ・宿のランク分けが不公平と感じる ・インカレの収支について公開はしないのか |
| 齋藤 | 以前は宿によって返金を行うほど格差が大きかったということもあったが、いまはかなり改善されている。宿の選択肢はクラブ規模によってかなり制約されていることご理解いただきたい。 |
| 大西 | 関西だと開催歴が少なく、宿の手配などのノウハウに難が生じているが、関東においてはかなりのノウハウが蓄積されている。現在インカレで宿泊手配をお願いしている日本旅行は、長年の経験と日本学連からの要望によって、宿の調理を平均化するために全宿泊施設とミーティングを行うなど対策をしている。 |
| 齋藤 | 開催地によっては宿の確保（食堂つき、ランクなどの要望）が困難であるため、これ以上の改善は難しく、期待に添えないことも多い。気を使ってやっているがこれ以上の平均化には宿とのやりとりがさらに膨大となりお金がかかり、参加費が高くなる。幹事や渉外、情報発信で参加者への説明を丁寧に行ってもらうしか無い。このように議論されている宿のランクと値段については、あくまで利用者側の視点からものをいっているのであり、旅行会社側からは同じランクとして扱っていることを分かってもらいたい。 |

| | |
|-----|---|
| 坂野 | 参加者への説明としては、議事録に記録を残す、いぶきでの情報発信などで対応する。 |
| 齋藤 | インカレ収支については、イベントアドバイザーによる確認を行っている。大会開催ではありふれたことだと思うが、実行委員会内部でも多くの方は会計内容を把握できないと思う。 |
| 小泉 | おそらく公開はできなくはないという状況だと思うが、内容の記述方法や、どの程度の詳細さが求められているのか不明である。 |
| 大西 | 公開しても参加者が内容を読み解くのは難しいものだと思う。日本学連会計がある程度の会計報告書を把握している程度にはできないか。また、収支報告だけを議事録に掲載することはできないか。 |
| 齋藤 | 日本学連は任意団体につき、税務問題や会計の用途と使用者の匿名性もあり、一般公開は不可能と考えている。 |
| 山川 | インカレ会計報告を日本学連へ提出するよう制度化することができるのではないかな。 |
| 田中 | 会計に疑問があれば学連に対して実名で個人的に問い合わせたいということではないかな。 |
| 小泉 | たしかに実行委員会の中で会計が完結しているが、インカレは日本学連の主催であり、公開はともかくとしてインカレ会計の把握も検討したい。 |
| 目安箱 | 学連の法人化の予定はないか。 |
| 山川 | 税務申告や申請が膨大となる。ほとんど競合もないのに入札などが必要で YMOE との契約関係が煩雑になる。 |
| 齋藤 | 会計資格を持った人を雇うことになるので加盟費の大幅上昇がありえる。 |
| 坂野 | 日本学連は社団法人格をもつ JOA に加盟しているが、その関係で法人格のメリットを利用できないか。 |
| 山川 | 日本学連は JOA から独立した立場を保証されている。現状では日本学連の法人化にメリットがないと考えている。 |
| 目安箱 | 事業計画（新機軸事業）は関西地域にも利用できるのか。 |
| 小泉 | できる、幹事会が承認可能な魅力的な内容を報告書として提出してください。 |
| 山川 | マップーを見つけて打診し、具体性のある案を学連に提出して欲しい。 |
| 坂野 | これまで日本学連は所有トレインを整備していただけだが、普及と整備という観点から、大会開催意欲はあるがお金がないという場合にお金のみの投資は可能か。 |
| 齋藤 | 学連に対して開催のための資金を貸して欲しいと言うことも、内容次第で可能と思う。 |

| | |
|-----|--|
| 山川 | そのような案と意欲があれば YMOE として投資を行いたい。ぜひ私に魅力的な案を出して欲しい。 |
| 目安箱 | 日本学連会計に透明性を確保して欲しい |
| 大久保 | 十分透明化されていると判断している。ただ会計監査と幹事長による幹事会前の確認が不十分なので徹底する。今回も事前に資料は公開したので積極的に意見を出して欲しい。加盟員からこれ以上の疑問があれば具体性を持って直接日本学連または会計へ問い合わせさせて欲しい。 |
| 目安箱 | 目安箱の Web 化について予定はないか。 |
| 小泉 | Web 化の利便性はある。申請フォームのような形では置けるのではないか。しかし匿名性が高く、無意味な連投などのリスクは考えられる。 |
| 坂野 | 置けなくはないが目安箱はまだ始まったばかりの事業である。問い合わせメールもおいてある。 |
| 小泉 | まずは大会会場で目安箱の周知を行いたい。 |
| 目安箱 | 一般クラスのリレーのウィニングについて |
| 齋藤 | トレインの制約がある中で最大限の努力をした。 |
| 小泉 | これら以上の目安箱に対する回答の方法として、どのような形で行えばよいか。議事録だけでなく、議事録別冊等の形で公開はできるか。 |
| 坂野 | 目安箱の回答は基本的には議事録のみで行っていくつもりである。要望があれば議事録別冊、HP に特設ページ、Twitter、いぶきなどでの公開も検討する。 |

10. 加盟校の基準について

地区学連ごとに加盟校になるための基準が異なる。日本学連総会では加盟校に平等に議決権が与えられるがこの件をどう扱うかについて議論したい。

| | |
|-----|---|
| 北東 | 加盟形態の変更は総会の承認を必要とする・日本学連加盟校としての義務を著しく怠った場合に降格 |
| 北信越 | 加盟員が 10 人以上・加盟校申請が必要・申請後の準加盟校降格要件は日本学連総会連続欠席のみ |
| 関東 | 加盟員が 5 人以上・自動的に昇格、年度の途中でも昇格可・条件を満たさなくなった次の年度に降格 |
| 東海 | 加盟員が 10 人以上・加盟校申請が必要・申請後の準加盟校に降格の要件は日本学連総会連続欠席のみ |
| 関西 | 加盟員が 10 人以上・条件を満たした後は 3 人以上で加盟校・昇格と降格は総会承認 |
| 中四九 | 加盟員が 10 人以上・条件を満たした後は 3 人以上で加盟校(原則)・昇格と降格は代表委員会承認 |

※昇格の最低条件は準加盟として満 1 年を経過していること

加盟校は総会への出席の権利と義務をもつ。議決権、選挙権をもつ。

準加盟校は加盟登録費 1000 円だが加盟校は加盟登録費 3000 円となる。

加盟校は渉外担当者の輩出などの手間が発生する。

| | |
|----|--|
| 小泉 | 加盟校基準が統一されていない以上、議決権が平等とは言えない。統一するべきだと思うが異議はないか。関東学連の規約では昇降が自動更新で、その他学連が総会の承認ということは、関東以外は昇降の動きがほとんどないということと思う。自動更新に統一するのが合理的と思う。 |
| 田中 | 関東は 1 年の準加盟を経て途中繰り上げ有りということだが、年度区切りにしたほうがわかりやすい。途中繰り上げでは加盟費や登録の手間が多くなる。 |
| 坂野 | 関東の加盟校基準は 5 人だが、10 人に統一するとすると加盟校減少となる。加盟校の減少はオリエンテーリングの普及や意見提出の面でデメリットが多いのではないか。 |
| 大西 | 意見提出ならば、関東学連内での議決を行えるようにはするなどで対応は可能。日本学連としての意義を考えるべき。 |
| 築地 | 5 人という規模では団体として体をなしていないのではないか。関西学連ではそう捉えている。準加盟でも総会で意見は言える。また、人数が多くても団体として体をなしていなければ意味が無いので、承認は必要と考えている。 |

| | |
|----|---|
| 田中 | ここ数年、加盟員は増加傾向である。加盟校基準を 10 人にして比較的大規模なクラブの会議とすることで、1 票の格差問題も解消できるのではないかと。 |
| 築地 | 5 人という人数では 1 人の渉外担当者を作り、総会に出席する負担も大きい。 |
| 吉澤 | 年度内の自動変更では加盟金の変動に対応する必要がある。どの時点での人数で加盟を判断するか明確にする必要はある。 |
| 小泉 | これまでの意見をまとめると、準加盟で 1 年以上継続し、加盟員が 10 人を越えた学校は年度内のどこかを基準として申請と承認の上昇格。降格はその年度の加盟員が 10 人未満の団体が年度終わりに自動更新、となる。 |
| 細 | 人数が制限の 10 人を毎年前後する学校は毎年申請と承認を経ることになるが問題はないか。 |
| 小泉 | そのような団体は昇格時の申請で柔軟性を持たせることができないだろうか。10 人以上という条件の上、安定した新歓を行っていることや組織体制が十分などといった基準で、団体として体をなしているかどうかという点も加盟校昇格の判断にすることで対応できないだろうか。各学連でも話し合ってきて欲しい。 |

11. 秋インカレについての意見募集

| | |
|----|---|
| 齋藤 | インカレスプリント実行委員長から事業部へ、次の開催に向けてアンケートをとってほしいとの要望があった。去年のインカレスプリントについて、改善点と競技環境に関する意見を求めている。今回は競技や観戦などの環境が去年のインカレスプリントほど良い条件ではなくなると考えられる。7 月中旬ごろを締切として意見を求める。 |
|----|---|

12. 技術委員会の今後について

| | |
|-----|--|
| 大西 | 技術委員会の活動としては 2 月に山リハリレー、学連合宿を開催した。4 月に 8 月開催の WUOC 日本代表を決定した。会計報告を行う。 |
| 大西 | 学連合宿開催は人員がインカレ運営と競合していつも 2~3 人で運営しているが 5~6 人は必要と考えていて、協力者を探している。ユニバーシアードの派遣などの負担もある中、技術委員会の体制維持にむけて意見を求めている。学連を通して存在の周知、卒業後の協力を求める広報して欲しい。 学連合宿の運営協力には交通費支給と宿泊の補助費用は用意できる。本来は加盟校 OB,OG から技術委員会への輩出義務もあるが現状機能していない。この周知も協力して欲しい。 |
| 坂野 | 各校の OB,OG と協力するなどして、どこかのクラブが開催している合宿と連携できないか。 |
| 大久保 | 輩出義務について、任期の明言を行うことで協力者を増やせないか。 |
| 細 | インカレ実行委員会の打ち上げとしての合宿を開催するなど検討してみてもどうか。 |
| 山川 | 学生のトレイン利用、合宿や練習の頻度は全国で上がっている。昨年度は日光矢板トレインが大繁盛だった。こうなると学連合宿は不要かもしれない。 |
| 齋藤 | そのような背景には学生数増加、トレイン利用の整備が進んだという面もあると思う。 |
| 関西 | 関西では合宿の頻度は少ない。関西で開催できないか。 |
| 小泉 | 先の議論で出た OB に呼びかけるという前に、学連合宿に打診するというのは。 |
| 築地 | 自分たちもそのような可能性に気が付かなかった。 |
| 田中 | 合宿が開けない弱小校を対象とするより、近くの強豪校の合宿や練習に乗っかるのがいいのでは。 |
| 齋藤 | 以前開かれていた技術合宿では、技術委員会のスタッフに魅力があり、人が集まったと思う。さらに全国から集まった参加者同士での交流も生まれた。技術向上だけでなくこういうメリットを生かせないか。 |
| 山川 | 大学合同合宿に技術委員会員を派遣することで技術合宿継続を行えないか。 |
| 大西 | 今回出たいろいろな意見を持ち帰り、技術委員会で検討したい。 |

13. 後援大会申請

幹事会までに届いた後援大会の承認を行う。また、渉外報告書などについて確認する。

京大京女大会 全会一致で承認

筑波大大会 全会一致で承認

後援団体には報告書の提出が必要だが、新たに作成した渉外報告書をテンプレートとして掲載し、これの提出を義務にする。

14. 昨年度決算報告

| | |
|-----|--|
| 大久保 | 昨年度決算報告を作成したので確認して欲しい。2015 年度第 2 回会計中間報告からの変更点は各部局の使用料、交通費が確定した、トロフィー代の追記、山川さんからの地図会計報告を掲載など。矢板日光テレインの利用が多く、1 年間で 158 万円資産が増加した。振替口座の詳細が事務局に郵送されているはずだが山川さんから受け取れなかった。 |
| 山川 | 申し訳ないが、郵送物の転送方法を整備する必要がある。 |
| 大久保 | 事務局移転の際に賛助金の電信振替を紛失し、個別の具体的な数字が不明である。記載した値は最後に確認したときの合計金額から算出した。履歴を取り戻すのに 1 件 500 円かかるためやっていないが、大きな問題はないと考えている。 |
| 齋藤 | JOA に対する保険料 3000 円とはなにか。何に対する保険なのか全くわからない。そして保険料にしては安すぎる気がする。 |
| 大久保 | JOA の催促に応じて保険料として支払ったが、不明なので確認する。 |
| 齋藤 | インカレ開催の貸付金 250 万の計上は 2015 年度とするのか、返金は 2016 年度となるが、それでいいのか、記載方法を確認する必要がある。また、Nishipro の西村さんへのテレインハント料 50 万円の正当性が不明である。これはインカレ開催費に計上するべきなので貸付金に計上すべき案件ではないだろうか。 |
| 大久保 | つまり 50 万円は支払ったものだから貸し付けたのは 200 万円という認識であり、2015 年度ではなく 2016 年度会計に 200 万円貸付という記載をするということで大丈夫か。この資金の記載方法については関係者に相談して実態を把握し、次回幹事会までに確定する。 |
| 齋藤 | 加盟金が割り切れない。加盟員数を記載して欲しい。 |
| 大久保 | 追加費用の 200 円などの追加費用を含むため。その旨を記載すべきだが、漏れていたもので修正する。 |

| | |
|-----|--|
| 大西 | 技術委員会の予算案が削減された。 |
| 大久保 | 交通費の請求がされていなかったため。出せる余裕はある。 |
| 大久保 | 今回の出された意見を受けて修正し 10 月の総会で提出し承認を求める。 通帳との差額である不明金として 40 円を出した。 |

15. 理事会報告

| | |
|----|---|
| 齋藤 | 理事会では 春インカレ実行委員会承認 春インカレイベントアドバイザー承認 秋インカレ実行委員会承認 を行った。 秋インカレイベントアドバイザー承認審手中である。 また、資産管理やインカレ開催に関する規約を作成中である。 |
| 山川 | 非営利組織・任意団体である学連は会計規模・事業規模がかなり大きい。学生と OB,OG のボランティアでは回らない部分を YMOE 社が行い、学連と契約関係にある。学連所有の著作権管理方法の、現在の販売形態を契約として文書として規定が必要である。昨年度は山川個人で行っていた渉外活動を、YMOE 社と学連の契約としてまとめたことが大きな進歩であった。他社の参入も可能なように、日本学連が継続できるよう、齋藤理事が規約作成を進めている。未整備事項はインカレ開催までの流れの整備、クローズを含めたトレインコントロールがある。そうし未整備の状況なので、「不動の滝（南）」「日光愛宕山」「矢板日新」「椈の湖」を指定管理業者としてクローズし、販売や利用を断っている。トレインクローズは本来理事会の判断する案件だが、追いついていないのが実情で規約制定を進めている。 |
| 田中 | そのようなトレインクローズを周知して欲しい。 |
| 山川 | 理事会で発議や内容を詰めていないため未発表となっている。これも制度の未整備が原因にあり、インカレ開催トレインの正式発表までに行われた申請をすべて認めるという現行の制度に問題がある。 |

16. 各部署活動報告

| | |
|----|---|
| 小泉 | 各部署長は今年度の活動報告をしてください。 |
| 成澤 | 会計は昨年度後夜祭の赤字分を補填、インカレ交通費補助、今年度インカレミドルの 150 万円を貸付しました。 |
| 築地 | 事業部は本日の会場と宿泊を予約した。 |
| 坂野 | 広報は引き継ぎ後、HP の加盟校一覧のページを一部書き加えた。渉外メーリングリスト登録を行った。登録確認を促しているが残り 2 割程度から返信がない。大切な連絡手段のため、引き続き確認を促す。 |
| 吉澤 | 事務局は渉外名簿を作成した。今後加盟登録を行う。的場さんが加盟登録システムの構築を行っている。今後は各加盟校の渉外担当者が専用の HP から加盟登録を行えるようになるということ。システムが導入されれば煩雑な手続きや会計のミスが減ることになる。 |
| 細 | 普及：観戦ガイド作成に関するアンケートを実施。賛助会員の広報を行い、6 人から賛助をいただいた。日本学連活動報告書を作成中。 |
| 堀江 | 渉外：5 月中の練習会申請回覧書を所野地区に行った。6/11 に山川さんと共に矢板地区へのあいさつ回りをを行う。 |

17. 地区学連活動報告

| | |
|----|---|
| 小泉 | 各地区学連幹事長は今年度の活動報告をしてください。 |
| 渥美 | 北東学連は明日ロングセレクションと総会を開催し、広報誌の配布を行う。8 月に 2 回目のロングセレクションと総会を行う。次回日本学連総会で北東学連ロングセレ規約を改正するため内容の確認をお願いします。 |
| 高田 | 北信越学連は春インカレ後に総会を開催した。明日ロングセレクションと総会を開催する。来週は東海学連と合同スプリントセレを行う。 |
| 小泉 | 関東学連幹事長の瀬川は OLK 大会運営者なので欠席で、発言を代理する。4/1 総会を開催、5/21 に臨時総会と翌日ペア O を開催した。次回日本学連総会でミドル・ロングの推薦規約改正、関東学連規約内の事務局移転に関して規約改正を行いたい。7/3 ロングセレ兼関東インカレ、8/13 スプリントセレの開催を予定している。 |
| 横田 | 東海学連は 5/21 ペア O を開催した。今後は 6/12 にスプリントセレ、6/19 にロングセレ、8/21-22 に東海学連合宿を開催する。 |
| 中村 | 関西学連は 4/24,5/15 に学連新歓、4/24 に総会を開催した。6/19 ロングセレ、7/3 スプリントセレを予定している。 |
| 下江 | 中九四学連は 6/11-12 新歓合宿、6/19 関西で合同ロングセレを予定している。 |

18. 日本学連と JOA の関係について

| | |
|----|---|
| 山川 | 全日本大会衰退は学連としては見捨てられない。オリエンテーリングの統括団体がなくなって、インカレだけ、学連だけ残ることはない。 今後山川は全日本大会プロデューサーとして、JOA 内部から活動していく。生中心となっている JOA に、若い人を全日本大会へ来てもらう改革。オリエンテーリング会の融合としてロングセレと全日本の共催などの形で関わっていくと思う。 |
|----|---|

19. 次回幹事会について

| | |
|----|--|
| 築地 | 9 月 10 日に、長野県富士見町で開催されるインターハイに被せる形を検討。 |
|----|--|